

プレスリリース カテゴリー (スポーツ)

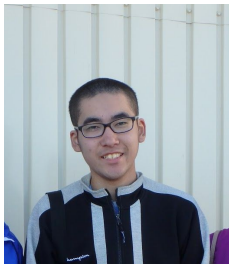
2017年2月7日

報道関係者各位

知的障がいのアルペンスキー競技者、世界大会へ

黒石市の石黒貴大選手、来月オーストリアへ

障がい者スポーツ団体、スペシャルオリンピックス日本・青森 (SON青森) は、3月18日に開幕する2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・オーストリアへ、黒石市のアルペンスキー競技選手、石黒貴大選手 (20) を派遣します。同選手は、81名からなる日本選手団の一員として、54名の競技者とともに3月14日に出発します。SON青森は、2004年の設立以来、県内の知的障がい者へ、年間を通じてスポーツと競技会の機会を途切れなく提供することで、知的障がい者の自立と社会参加を応援しており、4年に一度の全国大会・世界大会への選手の派遣も行っています。前回の2015年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ロサンゼルスでは、八戸市から1名を派遣をしています。



石黒貴大 (たかひろ) 6歳の頃からスキーを始め、昨年2月の全国大会 (新潟) で世界大会への切符を手に。渡航や世界大会は初めて。選手団の合同合宿では「日常的なパターンだった。2人の先輩と仲良くできた。話をする機会もあった。」と感想を話す。また「大会会場にはお母さんが応援に来てくれると思う、メダルがもらえうように頑張りたい」と大会への思いを語る。スペシャルオリンピックスは唯一のスポーツの場で「ここでならスポーツやっていくことができる」と小さい頃から思っていたという。夏場は陸上トレーニングをしており「智仁くんや山崎さんと仲が良い」と仲間についても語る。平日の日中は、自宅から送迎バスで15分離れた就労継続支援A型事業所で、約60人の人たちと椎茸の栽培の作業をする。アニメ「ダンガンロンパ」や「リライ」が好きで、食べ物はカレーとチャーハン。辛いもの・酸っぱいもの・苦いもの・しょっぱいものは苦手と話す。

【大会名】2017年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・オーストリア
【開会】3月18日
【閉会】3月24日
【開催地】オーストリア

【団体種別】非営利・任意団体 【代表者】会長 土岐 司
【設立】2004年11月20日 【会員数】135名 (2016年度)
【活動】スポーツを通して社会参加の実現
【事務局】青森大学・宮川愛子研究室
【ランチ】弘前・青森・八戸
【URL】<http://son-aomori.org/>

《本件に関するお問い合わせ》

スペシャルオリンピックス日本・青森PR担当の竹洞兼視 (タケホラケンジ) までお願いいたします。
TEL 090-6221-3785 (平日16~20時) FAX 050-3730-9109 E-mail nekohat@gmail.com